事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農業委員会事務局			■担当係	当係 農業振興係		
■評価事業名称	農業委員活動交付金						
■評価事業コード	520100 - 052 ■会計区分 一般会計						
	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり					
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策 04 地域産業を担う人づくりと雇用環境の向上						
	■施策	■施策 04 農林業の担い手等人材の育成支援					
■事業の類型	06 負担金・補助金(ソフト事業) ■政策・業務区分 政策						
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務						
■法令等の名称	農業委員会等に関する法律						
■関連計画の名称							
■事業の 目的と概要 記定農業者、担い手等の農業者に農業経営手法などの情報提供し、農業経営が安定的にできる育成ができた。地方自治の本旨に則り、北上市農政についての調査、研究等を行い、市農政の運営に寄与し、その発展を図る。							

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業 名称	事業の対象	平成 24 年度事業計画	平成 24 年度事業量実績
01 農動	業委員活 交付金	委員会		農業委員活動交付金1,000,000円 ①総会 5回 ②農地部会 12回 ③農政部会 12回 〈農政調査会事務〉 ①先進地視察研修等の研修活動 9回 ②自主活動事務 11回 ③関連会議事務 10回 ④農業委員会だより編集委員会 4回 ⑤農作業労賃標準額設定検討委員会 1回他

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	1,313	1,313	1,261	1,000	
人 件 費	2,553	2,127	1,947	1,888	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,866	3,440	3,208	2,888	

4. 評価指標等の状況

	指標 コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
0	会・4)農政部会・5)自3	★·②役員会·③農地部 農政部会·⑤自主活動	55回	78回	67回	64回	·総会5回 ・役員会7回 ・ 農地部会12回 ・農政部会
研修な 開催	多や各種意見交換会等の 催 ⑥実態調査の実施					12回・自主活動による研修会等28回	

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

■目標達成状況 -

● A. 順調

- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

市農政全般について調査研究に努め、計画どお りに総会や両部会、各種研修会等の開催を行 かられると同時会、存住が修み等の用作を行なった。そして、農地法に係る許可事務や農業振興に係る各種事業のほか、研修会を通じた農業委員の自己研さんにより市農政の発展に寄与す ることができた。

問題点 : 課題等

特になし

-1. 直接的な受益者の範囲 -

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

-2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

-4. 事業へのニーズの変化

- (●) ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

·5. 施策の改善需要度(市民意識調査) ¬

- 順位が高い
- (順位が中程度
- 順位が低い

一6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

-7. 他市町村に比較しての優位性 -

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- Ⅳ. 民間活用・協働事業化
- II.継続
- V. 廃止・休止
- Ⅲ. 縮小·要改善
- VI. 完了

補足説明